

# コンサルティング報告書

社会福祉法人 愛宕福祉会

デイアクティビティセンターはろはろ

平成31年3月



# 派遣先事業所が抱える問題及び支援分野

<初回（12/13）> 担当：関原、北野

- H25年開所、B型（定員20名／登録46名／実利用26名）  
（出席日数：20-：6名 16-19：10名 12-15：9名 8-11：5名 -7：12名）
- 精神・発達障害が中心
- H29年度平均工賃：7,288円

<問題点>

- ① 利用者の通所が不安定  
→利用者登録人数は46名だが、通所が困難な方が1/3程度いる。  
→エリア内に地活等がないので、幅広い層を受け入れている状況。
- ② 工賃支払規程の不一致  
→通所が不安定かつ通所しても作業に従事できない利用者が多数いる中、工賃支払規程は時給制となっている。
- ③ 請負作業の単価が低く工賃原資を確保できない  
→支援者人時売上が100円未満の請負作業がある為、工賃原資を確保することが出来ない
- ④ 新規事業  
→新規事業で製菓事業（焼き菓子）に着手したが、目標工賃を支払う為の具体的な戦略を立案できていない。

# 派遣先事業所が抱える問題及び支援分野

## <方針>2-2生産性向上→3新規事業

- 作業アセスメント表の作成と評価・支援の具体化→生産量拡大
- 新規請負事業の獲得→工賃原資の安定確保
- 作業別単価設定による工賃支払規程への改定（+日当制の導入検討）
- 製菓事業（焼き菓子）の販売戦略立案
- 利用者層にマッチした事業形態（多機能化）シュミレーション



## <支援分野：2-2生産性向上＋工賃支払規程、3新規事業、多機能化> 担当：関原

- 2回目（1/10）：作業分解と作業アセスメントシート作成・工賃支払規程設計
- 3回目（1/31）：製菓事業（焼き菓子）の成長シナリオ（販売戦略立案）
- 4回目（2/21）：多機能化シュミレーション

# コンサルティング内容

- 2回目（1/10）：作業分解と作業アセスメントシート作成・工賃支払規程設計
  - 宿題：請負営業、みゆき堂（箱折）獲得、+10万円／月予定
  - 宿題：作業アセスメント表（みゆき堂）、他作業について作成完了  
→作業別の難易度まで付ける
  - 作業アセスメントの活用方法  
→作業の最初にやってもらう時にシートを使いたい  
→習得の進捗を見られるのがいい  
→今後工賃差を付けていく場合に使うのがいい  
→モニタリングの時の次の目標設定に使う
  - 中長期の事業展開  
→H31年度は経営改善に取り組み、H32年度に第1はろはろ（ゆったり型）と第2はろはろ（仕事型）に分ける  
→あわせて、工賃規程は、H31年度日当を導入し（150円／日）、それに慣れてもらった上で、H32年度に第2はろはろで作業別単価に差を付けていく（作業アセスメントシートを活用）  
→平均工賃7,288円→9,106円（+1,818円）予定
  - 撤退：木工を辞める（粉が出る等環境があまり良くないので）
  - 次回：パン事業の事業シナリオ検討

# コンサルティング内容

- 3回目（1/31）：製菓事業（焼き菓子）の成長シナリオ（販売戦略立案）
  - 宿題：お菓子箱折：1月中旬スタート。約半月で83千円。→+16万円予定
  - 木工をclose。特に問題なし。
  - アセスメント表は未着手
  - シナリオ・ライティング
    - 現在：5万円／月、イベント販売（1万円×5回）
    - 理想像：6人→22人（利用者の半分）が工賃3万円を実現できる姿に
    - シナリオを2つに分割
      - ・ ・ ・ Phase1：10万円／月、Phase2：110万円／月
    - Phase1：現体制で1万円×10ヶ所の商品（マフィン）×顧客の想定と製造安定化
    - 自己組織化：10万円／回に相当する商品×顧客の想定  
（例：キューブパン×認定こども園前カフェ、食パン×高齢施設等）
    - 共鳴：工房の大型化

※詳細別紙



# コンサルティング内容

## ● 4回目（2/21）：進捗確認&専門家支援

- みゆき堂2月実績**430千円（全体売上の2/3）**  
→年度売上H29：3,530千円→H30：4,767千円（+1,237千円）
- マフィン売上も約200千円の増加

	H29年度	H30年度	H30-H29	H30/H29	H31予測
売上	3,530,676	4,767,461	1,236,785	135.0%	7,730,676
工賃支払総額	2,886,522	3,348,759	1,035,596	135.9%	6,730,676
収支差額		573,359			
延べ人数	396	483	87	121.9%	550
平均工賃	7,288	8,120	832	111.4%	12,238

（月平均）

7.2人増

<コメント>

- ・ H30年度は売上1,237千円増（昨対135%）、工賃支払総額1,036千円増（昨対136%）  
→請負約80万円（2か月で）、お菓子約20万円増
- ・ 延べ利用者数が396人月→483人月（+87人、月換算7.2人）増したが、平均は8,120円（+832円）で着地する予定  
→非常に高い成長性
- ・ H31年度は、年度当初より請負が始められるので、+4,200千円増が見込める  
→7,731千円と予測
- ・ 延べ人数が550人月とさらに増加すると予想されるが、平均工賃は12,238円まで伸びる予定

# コンサルティング内容

- 4回目（2/21）：進捗確認&専門家支援
  - 近隣の流行っている店舗への視察、及び商品比較を実施
  - 製造工程の確認、試食を経て、改善ポイントを整理
  - レシピの修正
    - ✓ ☆中力粉→アーモンドプードル  
メリット・風味アップ  
デメリット・原価アップ
    - ✓ ☆グラニュー糖→上白糖  
メリット・原価ダウン
    - ✓ ☆トマトの処理方法を変更  
セミドライトマトにして使用  
トマトジャムにして使用
  - プレーンマフィンを極める  
→トッピングで季節感を出す
  - 廃棄をなくす
  - 賞味期限近くの商品→マフィンラスク





# 支援の成果と今後の見通し

## <成果>

- ① 新規請負の獲得  
→月400千円規模、来期は4,800千円の粗利増が見込める
- ② 商品開発  
→専門家による指導により、マフィンの生地を改良  
→商品作りを安定化させた上で、4月開園の子ども園前カフェスペースにて販売開始
- ③ 多機能化計画の策定  
→→H31年度は経営改善に取り組み、H32年度に第1はろはろ（ゆったり型）と第2はろはろ（仕事型）に分ける  
→工賃規程は、H31年度日当を導入し（150円／日）、H32年度に第2はろはろで作業別単価に差を付けていく（作業アセスメントシートを活用）



## <今後>

- 月400千円規模、来期は4,800千円の売上増が見込める  
→大幅に人数増（483→550人月）するも、平均工賃は7,288→12,238円（+4,950円）になる見通し